

## 門司メディカルセンターで心臓リハビリテーションを実施した患者様へ

当院では、下記の研究を実施する予定としております。臨床研究のうち、患者様への侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いる研究等については、国が定めた指針に基づき患者様の個人情報に配慮し、加工などを行った上で、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、研究期間の都合上、同意撤回につきましては、2020年7月までとさせていただきますのでご了承ください。

研究課題名	超高齢心不全患者の心臓リハビリテーションにおけるADL低下に影響する因子の検討
研究責任者	末松 直子(中央リハビリテーション部)
他の研究機関及び各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	高齢化の一途をたどる我が国において「心不全パンデミック」は医療経済的にも大きな問題となっている。高齢心不全患者は増悪による再入院を繰り返し、身体機能が低下しADL・QOLも低下する。しかしながら、我々は重症な超高齢心不全患者であっても、心臓リハビリテーション(以下、心リハ)を施行し入院前に近い状態で退院する患者も多く経験する。本研究の目的は当院85歳以上の超高齢心不全患者のADLの変化に影響する因子を検討することとする。
該当期間	2015年9月～2016年8月
研究の方法 (使用する情報)	◆対象となる患者様 上記期間内に当院に心不全で入院され、心リハを実施した85歳以上の方 ◆利用する情報 電子カルテに記載のある検査データや心リハ記録、診療記録
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者様を特定できる個人情報は削除致します。研究責任者が管理し、院外へ持ち出し禁止とします。また、研究成果は学会などで発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる氏名、住所などの個人情報は一切利用しません。
他機関への情報の提供	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に際して、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ	独立行政法人労働者健康安全機構九州労災病院門司メディカルセンター 093-331-3461(代表) 担当者:中央リハビリテーション部 末松 直子